



東京ヤクルトスワローズ

EDM ORGANIZATION ANALYSIS チーム編成分析

毎年恒例の「ヤ戦病院」状態で、セ・リーグ最下位が濃厚！今シーズン、チャンスをもらった若手たちの奮起が期待される

2年前の優勝は遠い記憶に…

昨年の5位から巻き返しを図ったヤクルトだったが、開幕から負けが重なり3年ぶりの最下位が濃厚となっている。2年前に優勝したことを忘れてしまいそうになるほどの低迷だ。

今年もケガ人が相次ぎ、2015年に続き、2軍でプレーできる選手が少なくなったため、シーズン途中で元選手と育成契約した。真中満監督が今季限りでの退任を表明した会見で「来年指揮を執っても勝てる自信がない」と言ったが、そう言わせてしまう環境が問題ではないだろうか。

選手の成績に目を移すと2年連続トリプスリーの山田哲人が極度の不振に陥ったことがすべて。投手陣は、秋吉亮のケガもあったがリリーフで特に苦勞した。

原樹理にブレイクの兆し

ルーキーの星知弥以外に、大卒2年目の原樹理が5月から先発ローテに定着した。勝ち星こそ伸びなかったが、奪三振率が9近くと球の威力が増してきたのは好材料だ。来年は先発ローテの中心となるかもしれない。

投手より若手の台頭が目立ったのが野手。中堅の域に差し掛かっているが、捕手登録の藤井亮太が三塁で好守備を見せた。打撃は少々頼りないが、外野を守ることもでき、ユーティリティプレイヤーとして戦力になりそうだ。

クライマックスシリーズ進出が絶望となった夏場以降は、山崎晃大朗や奥村展征を積極的に起用した。山崎は中堅手、奥村は遊撃手のレギュラーを奪えるか、来年が勝負となる。

年齢・ポジションによるチーム構成

年齢	投手		捕手	内野手		外野手	
	右投	左投	右打	右打	左打	右打	左打
~20	(19)梅野雄吾	(20)寺島成輝	(20)古賀優大				
21		ジュリアス 高橋聖二		廣岡大志	渡邊大樹		
22			山川晃司				
23					奥村展征		
24	星知弥 田川賢吾◇	中尾輝					(左投)山崎晃大朗
25	風張蓮 原樹理						(左投)榎本葵
26	中島彰吾		西田明央	山田哲人		原泉	
27	平井諒	岩橋慶侍	(左打)太村孟◇	西浦直亨	谷内亮太		
28	小川泰弘 土肥寛昌	竹下真吾	中村悠平				
29	榎山誠 7キヤン 屋宜雅也 由規 (竹)秋吉亮				グリーン		
30	石山泰稚 菊沢竜佑		星野雄大 (左打)藤井亮太	リベロ			上田剛史
31	ギルメット	村中恭兵		荒木貴裕	川端慎吾	鶴久森淳志 比屋根渉	
32	吉野正人◇	久吉健太郎					
33	山本哲哉 (ア)山中浩史	中澤雅人 成瀬善久					
34	ルーキ			大引啓次	今浪隆博 三輪正義	バレンティン	坂口智隆 (左投)雄平
35~	高橋一 高木大祐 梶山 陽弘	(38)石川雅規	(35)井野卓 (36)新田玄気◇	(36)島山和洋☆	(35・左投)武内晋一☆ (36・左投)大松尚逸	(35)飯原誉士	

◇=両打、☆=一塁手、ア=アンダースロー、サ=サイドスロー、下線=2016年ドラフト選手、◇=育成選手、太字=外国人選手。年齢は2018年の満年齢としています。(情報は2017年9月11日現在)